

令和7年度健康づくり指導者セミナー(行政コース) プログラム

セミナーテーマ：はじめの一步！！「健康寿命の延伸」に向けて
わがまちの特徴について一緒にデータ分析してみよう

来場型 令和7年11月6日（木）午後1時00分 ～ 午後4時30分

時間	項目	概要
(5分)	開講・オリエンテーション	持ち物（既存データ＜KDB、特定健診データ、衛生年報など＞）の確認 ※無い場合は、愛知県データを配布します
(60分)	演習1 講義・グループワーク 「体系図を作成してみよう」	＜講義＞ 「健康寿命の延伸」を最上位目標とし、人が病気を発症し、介護や死亡に至るまでの流れを体系化し、それに伴うデータとの関連づけを行う。 ＜グループワーク＞ 1.生活習慣病予防担当 生活習慣病の発症から重症化までの流れについて、体系図を作成する。 2.介護予防担当 要介護に至るまでの流れについて、体系図を作成する。
(10分)	質疑応答	作成した体系図と、データとの関連づけを行い、包括的な理解を深める。
(10分)	休憩	
(60分)	演習2 講義・ワーク（個人・グループワーク） 「既存データの活用方法について知ろう」	＜講義＞ 既存データを活用するメリットやその留意点を確認するとともに、同規模自治体との比較や経年変化を見える化するなど、多面的に分析する方法を学ぶ。 ＜ワーク（個人・グループワーク）＞ 演習1で作成した体系図に「既存データ」を投入し、県や同規模自治体との比較や経年変化の状況など、様々な視点からデータを分析し、評価する。
(10分)	質疑応答	
(10分)	休憩	
(30分)	演習3 ワーク（個人・グループワーク） 「分析・評価から課題を考察し、優先順位づけをしてみよう」	＜個人ワーク＞ 演習2の結果について、現在の「実施している事業」、「まわりの環境」、「住民の特徴」、など担当者の肌感覚も踏まえて原因を考察する。その考察から課題を抽出し、重要性や緊急性から実施すべき事業の優先順位づけをする。 ＜グループワーク＞ 個人で行ったワークをもとに、考察した内容や課題決定までの過程など、グループ内で発表、意見交換することにより、多角的な視点を取り入れる。
(10分)	質疑応答	
(5分)	諸連絡・閉講	

本研修では、ご自身の市町村の既存データをご持参いただき、それをもとに分析していきます。

※持ち込みが難しい場合は、愛知県のデータをデモデータとしてご準備いたしますので、事前にお伝えください。

※持ち込みは、パソコンでも紙面でも構いません。

既存データ例 ※直近データから可能な範囲で過去3年分のデータをご持参ください。

＜生活習慣病予防系の担当者＞

- ・死亡要因→衛生年報、人口動態など
- ・介護要因→介護実施状況報告など
- ・医療要因→KDBなど
- ・生活習慣病関連→県の特健診データを活用した分析・評価、KDBなど

・日常生活状況→県の特健診データ、KDBなど

※国保担当の方は「KDB」のデータをご持参ください。

※市町村全域を分析したい場合は「県の特健診データ」（社保も含まれる）をお勧めします。

＜介護予防系の担当者＞

- ・介護要因→介護実施状況報告など
- ・医療要因→KDBなど
- ・生活習慣病、フレイル関連→KDBなど
- ・日常生活状況→KDBなど